

平成28年度全国学力・学習状況調査の結果

伊達市教育委員会

○平成28年4月19日（火）に実施した平成28年度全国学力・学習状況調査の北海道における参加状況は、下記のとおりである。

	北海道		伊達市 (星の丘小・中学校を除く)	
	学校数	児童生徒数	学校数	児童生徒数
小学校	1,048校	40,277人	9校	295人
中学校	608校	41,236人	4校	252人

○教科に関する調査内容は、小・中学校とも下記のとおり4教科である。

- ・小学校 主として「知識」に関する問題：国語A・算数A
主として「活用」に関する問題：国語B・算数B
- ・中学校 主として「知識」に関する問題：国語A・数学A
主として「活用」に関する問題：国語B・数学B

○生活習慣や学習環境等に関する調査内容は、下記のとおりである。

- ・児童生徒質問紙調査
- ・学校質問紙調査

○結果分析については、文部科学省初等中等教育局参事官付学力調査室より送付された資料を基に伊達市の結果分析を実施し、課題を整理した。

・結果の分析

1 教科

(1) 小学校

・伊達市の平均正答率を、全国と比較すると、国語Aは同じとなっているが、国語Bが1.4ポイント、算数Aが2.9ポイント、算数Bが4.6ポイント全国を下回っている。

また、北海道と比較すると、国語Aで1.9ポイント、国語Bで0.4ポイント上回っており、算数Aで0.6ポイント、算数Bで1.9ポイント下回っている。**(表1)**

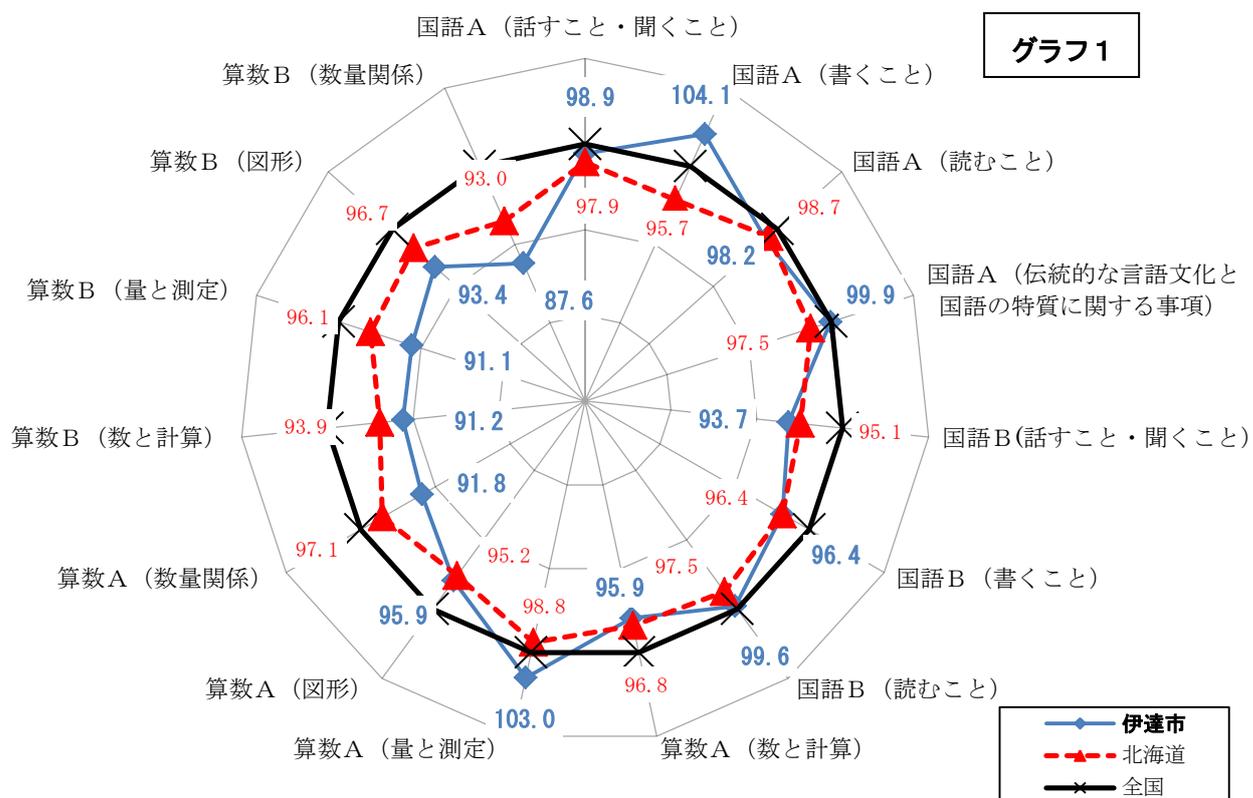
・学習指導要領による領域別の平均正答率を、全国と比較すると、15領域中、6領域（国語B：話すこと・聞くこと、算数A：数量関係、算数B：数と計算、量と測定、図形、数量関係）が全国平均を5.0ポイント以上下回っていることから、各領域における課題解決に向けた指導改善が必要である。

(グラフ1)

平均正答率：単位%	国語A	国語B	算数A	算数B
	(知識)	(活用)	(知識)	(活用)
伊達市	72.9	56.4	74.7	42.6
北海道	71.0	56.0	75.3	44.5
全国	72.9	57.8	77.6	47.2
比較：伊達市-全国	0.0	△1.4	△2.9	△4.6

表 1

・領域別状況：全国を100とした場合、伊達市及び北海道の状況（小学校：学習指導要領による領域別の平均正答率）



(2) 中学校

・伊達市の平均正答率を、全国と比較すると、国語Aは0.7ポイント上回っているが、国語Bで5.4ポイント、数学Aで2.9ポイント、数学Bで3.4ポイント下回っている。

また、北海道と比較すると、国語Aは1.2ポイント上回っているが、国語Bで3.9ポイント、数学Aで2.5ポイント、数学Bで2.6ポイント下回っている。(表2)

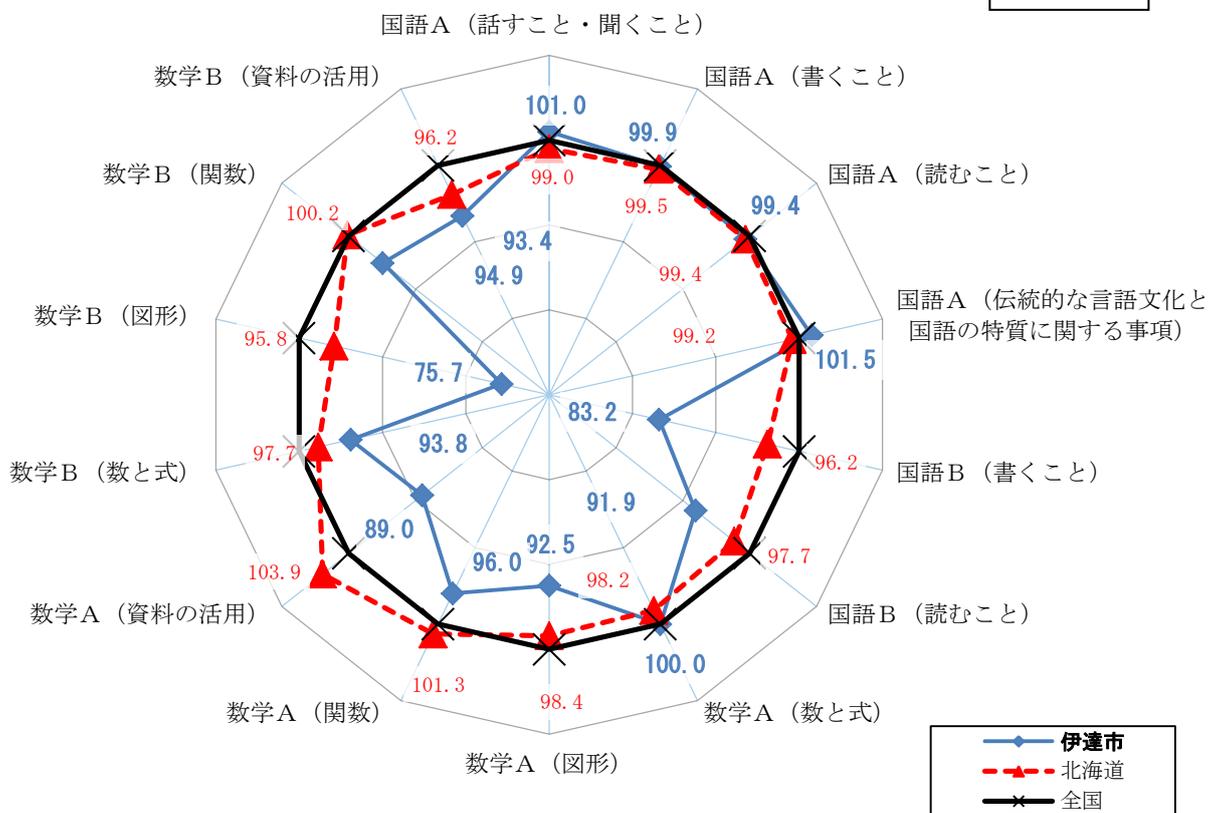
・学習指導要領による領域別の平均正答率を、全国と比較すると、14領域中、8領域（国語B：書くこと、読むこと、数学A：図形、資料の活用、数学B：数と式、図形、関数、資料の活用）が全国平均を5.0ポイント以上下回っていることから、各領域における課題解決に向けた指導改善が必要である。(グラフ2)

平均正答率：単位%	国語A	国語B	数学A	数学B
	(知識)	(活用)	(知識)	(活用)
伊達市	76.3	61.1	59.3	40.7
北海道	75.1	65.0	61.8	43.3
全国	75.6	66.5	62.2	44.1
比較:伊達市-全国	0.7	△5.4	△2.9	△3.4

表2

・領域別状況：全国を100とした場合、伊達市及び北海道の状況（中学校：学習指導要領による領域別の平均正答率）

グラフ2



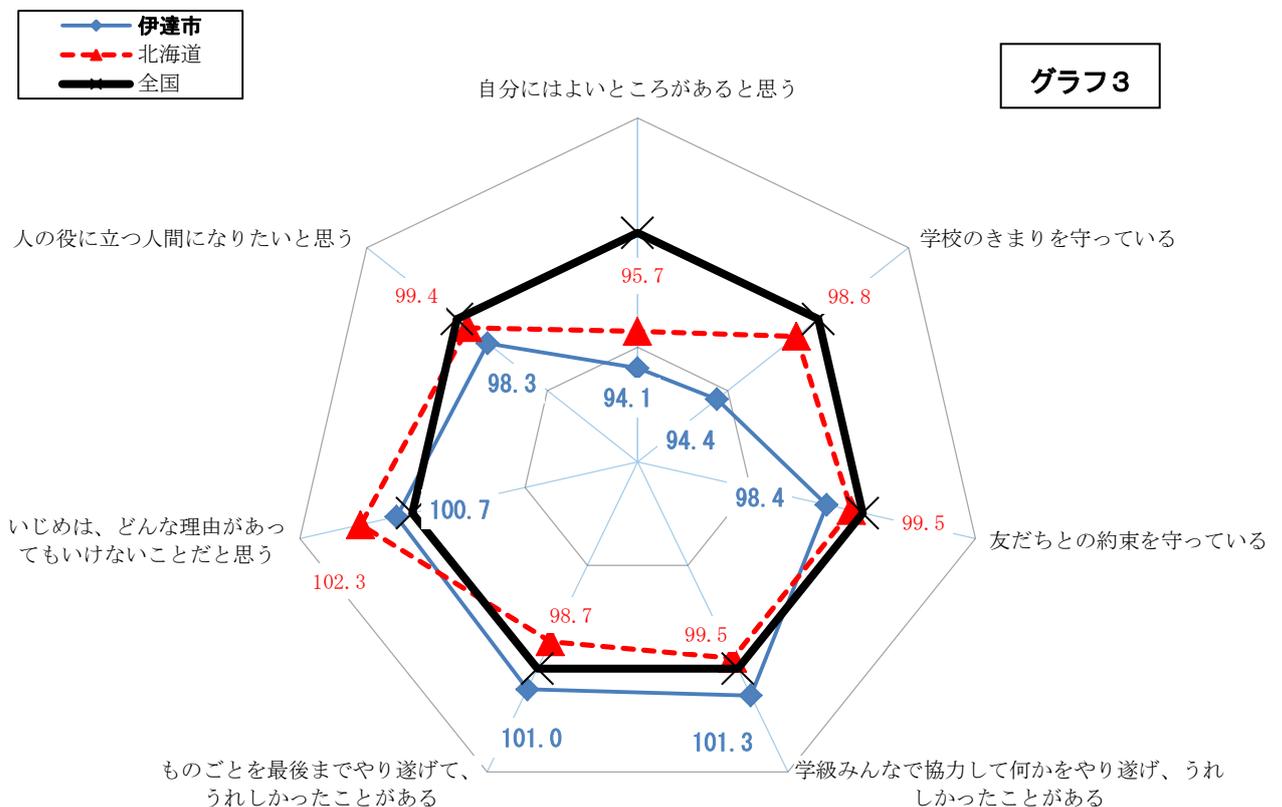
2 児童生徒質問紙調査

(1) 小学校

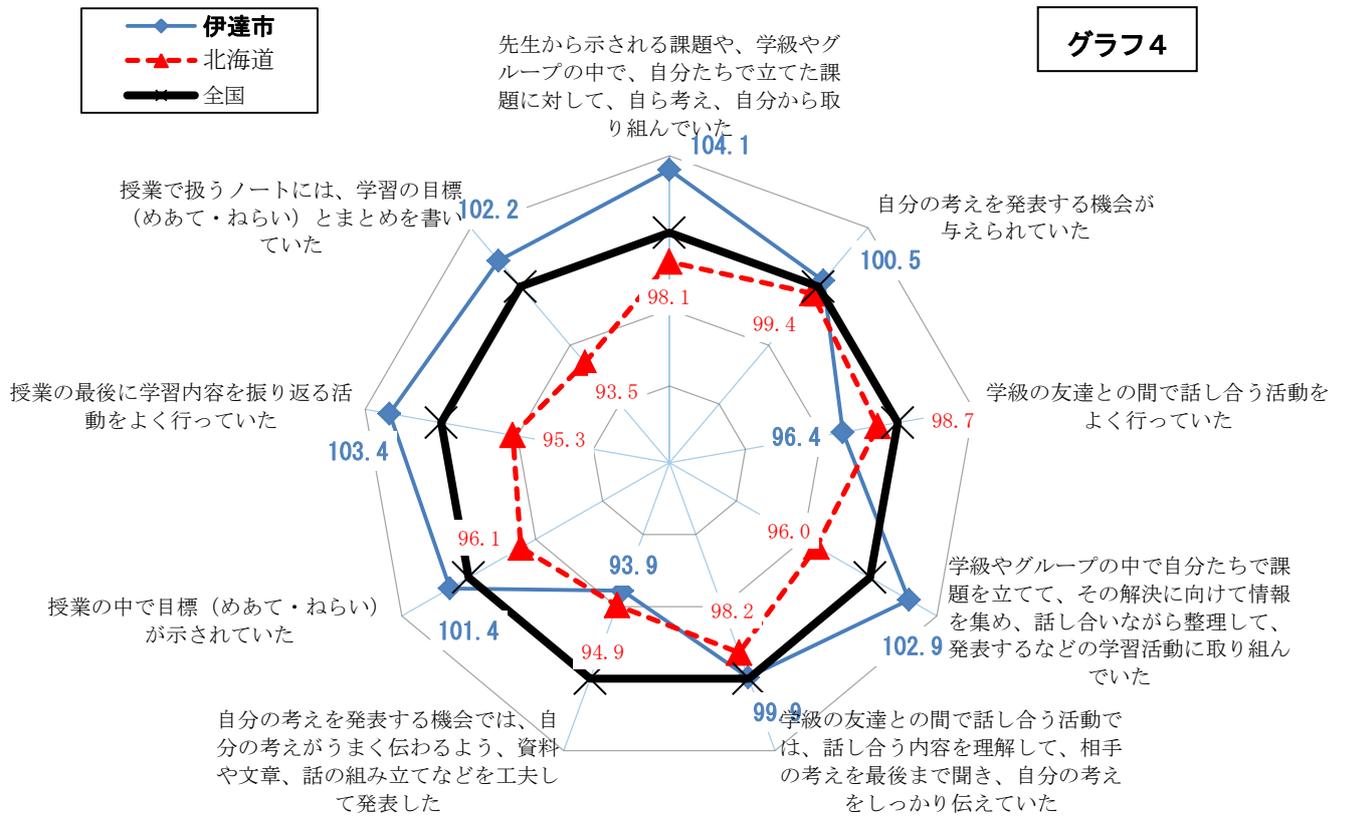
・自尊意識、規範意識等の項目を、全国と比較すると、「自分には良いところがあると思う」や「学校のきまりを守っている」と答えた割合が5ポイント以上低いことから、保護者と連携して自尊意識、規範意識を育てる必要がある。(グラフ3)

・授業についての項目を、全国と比較すると、「自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表した」と答えた割合が5ポイント以上低いことから、授業の工夫が必要である。(グラフ4)

・領域別状況：全国を100とした場合、伊達市及び北海道の状況（小学校：自尊意識、規範意識等）



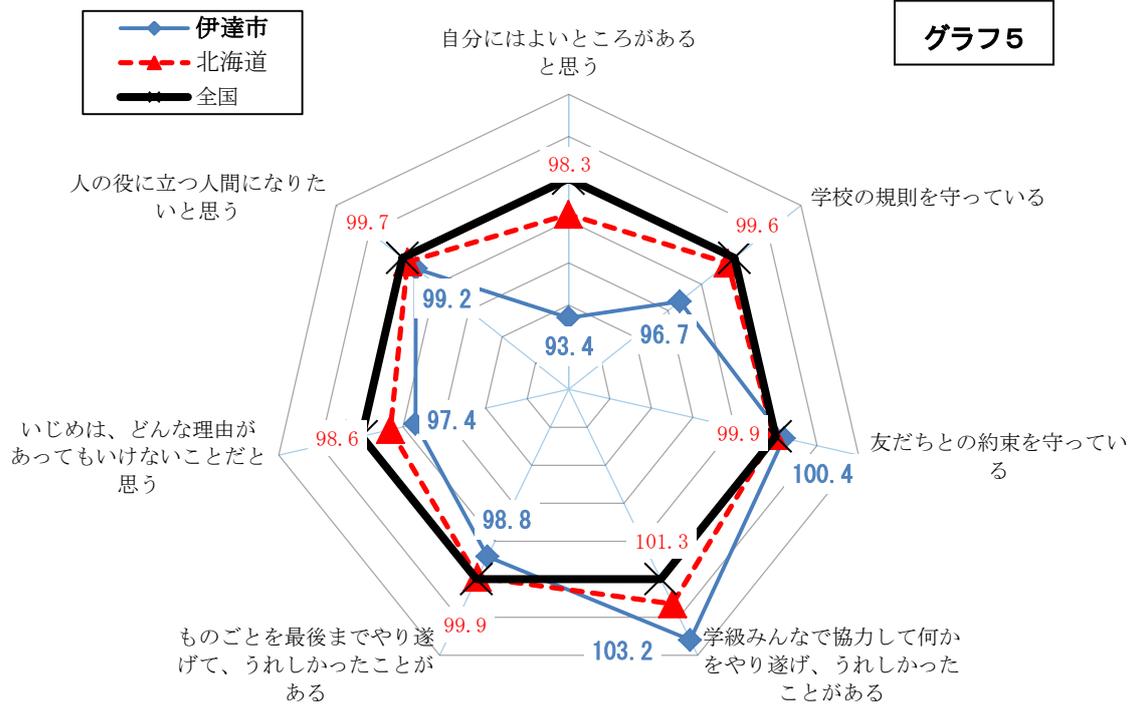
・領域別状況：全国を100とした場合、伊達市及び北海道の状況（小学校：授業について）



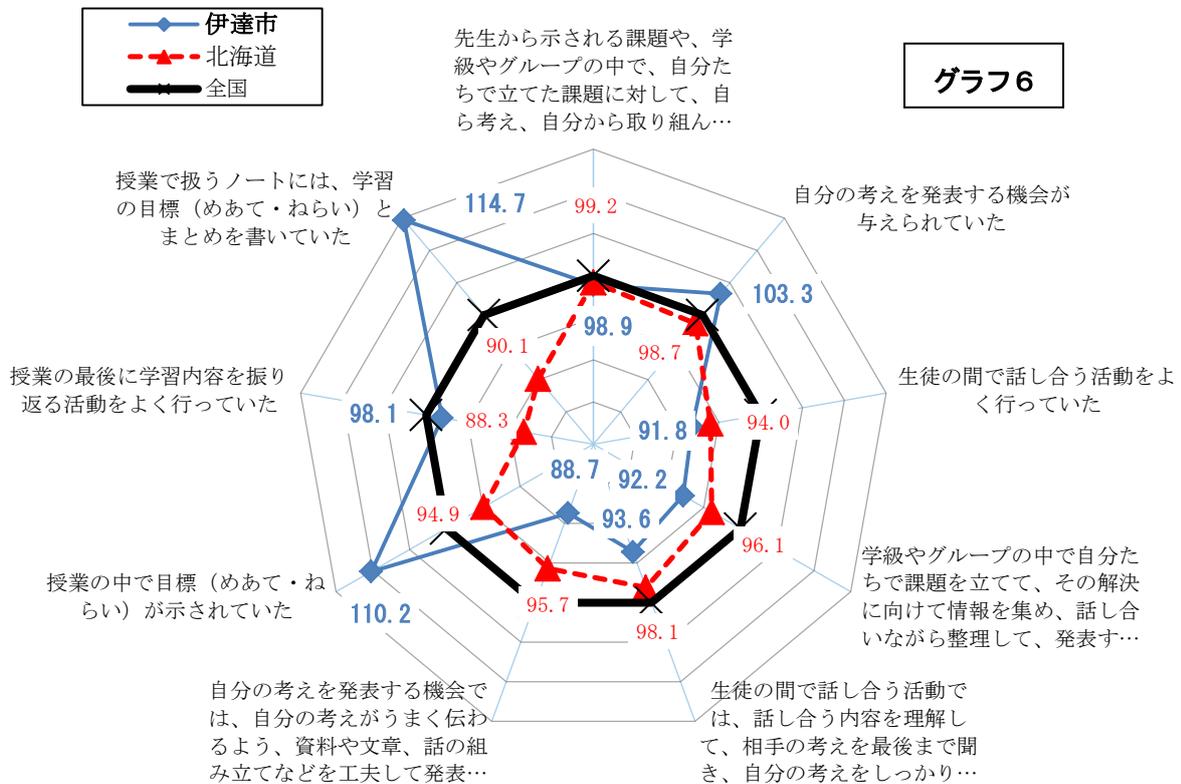
(2) 中学校

- ・自尊意識、規範意識等の項目を、全国と比較すると、「自分には良いところがあると思う」と答えた割合が5ポイント以上低いことから、保護者と連携して自尊意識を育てる必要がある。（グラフ5）
- ・授業についての項目を、全国と比較すると、「授業の中で目標（めあて・ねらい）が示されていた」や「授業で扱うノートには、学習の目標（めあて・ねらい）とまとめを書いていた」と答えた割合が5ポイント以上高いが、「生徒の間で話し合う活動をよく行っていた」や「学級やグループの中で自分たちで課題を立てて、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して、発表するなどの学習活動に取り組んでいた」、「生徒の間で話し合う活動では、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、自分の考えをしっかりと伝えていた」、「自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していた」と答えた割合が5ポイント以上低いことから、授業の工夫が必要である。（グラフ6）

・領域別状況：全国を100とした場合、伊達市及び北海道の状況（中学校：自尊意識、規範意識等）



・領域別状況：全国を100とした場合、伊達市及び北海道の状況（中学校：授業について）

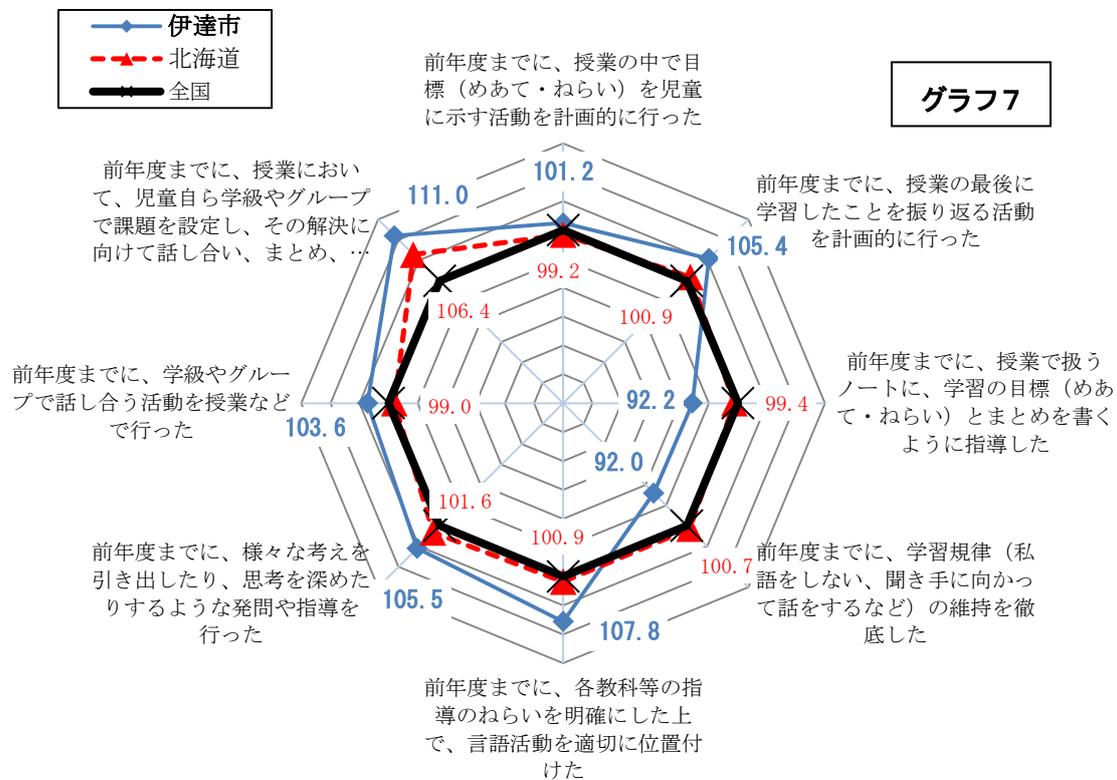


3 学校質問紙調査

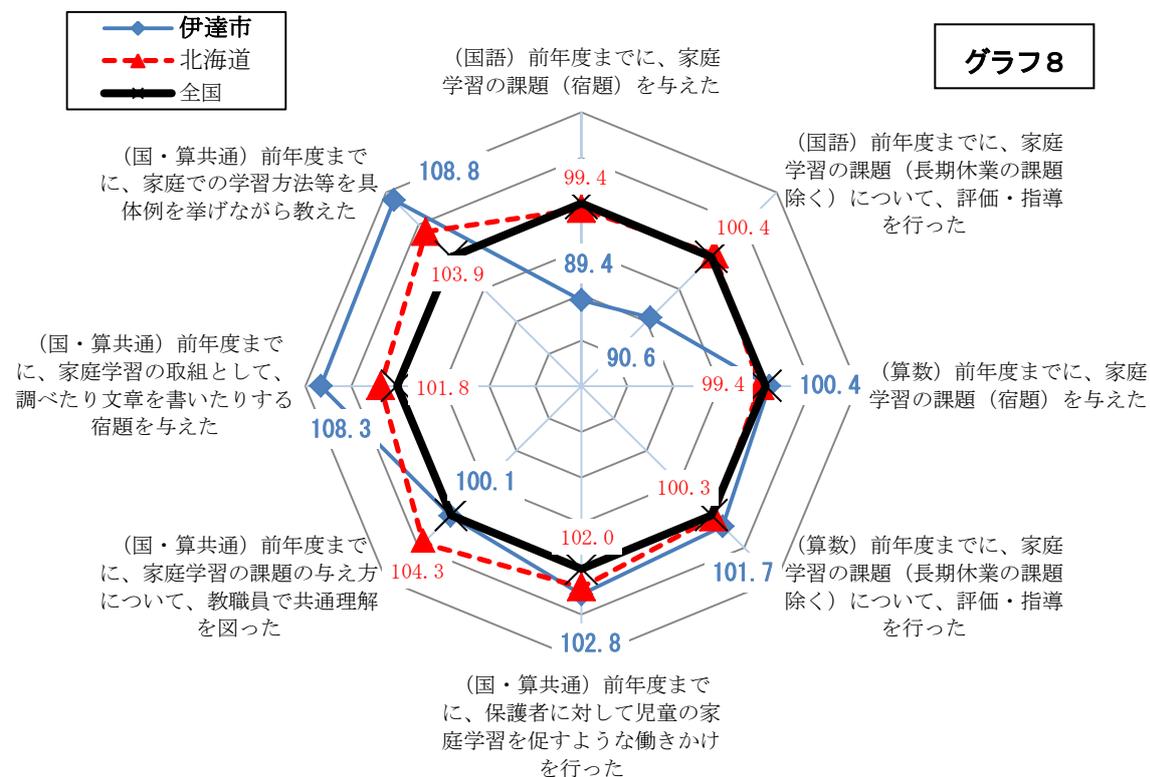
(1) 小学校

- ・全国と比較し、「前年度までに、授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に行った」や「前年度までに、各教科等の指導のねらいを明確にした上で、言語活動を適切に位置付けた」、「前年度までに、様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導を行った」、「前年度までに、授業において、児童自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れた」と答えた割合が5ポイント以上高いが、「前年度までに、授業で扱うノートに、学習の目標（めあて・ねらい）とまとめを書くように指導した」や「前年度までに、学習規律（私語をしない、聞き手に向かって話をするなど）の維持を徹底した」と答えた割合が5ポイント以上低いことから、指導方法の工夫が必要である。（グラフ7）
- ・全国と比較し、「(国・算共通) 前年度までに、家庭学習の取組として、調べたり文章を書いたりする宿題を与えた」や「(国・算共通) 前年度までに、家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えた」と答えた割合が5ポイント以上高いが、「(国語) 前年度までに、家庭学習の課題（宿題）を与えた」や「(国語) 前年度までに、家庭学習の課題（長期休業の課題除く）について、評価・指導を行った」と答えた割合が5ポイント以上低くなっている。（グラフ8）

・領域別状況：全国を100とした場合、伊達市及び北海道の状況（小学校：指導方法）



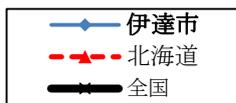
・領域別状況：全国を100とした場合、伊達市及び北海道の状況（小学校：家庭学習（国語・算数））



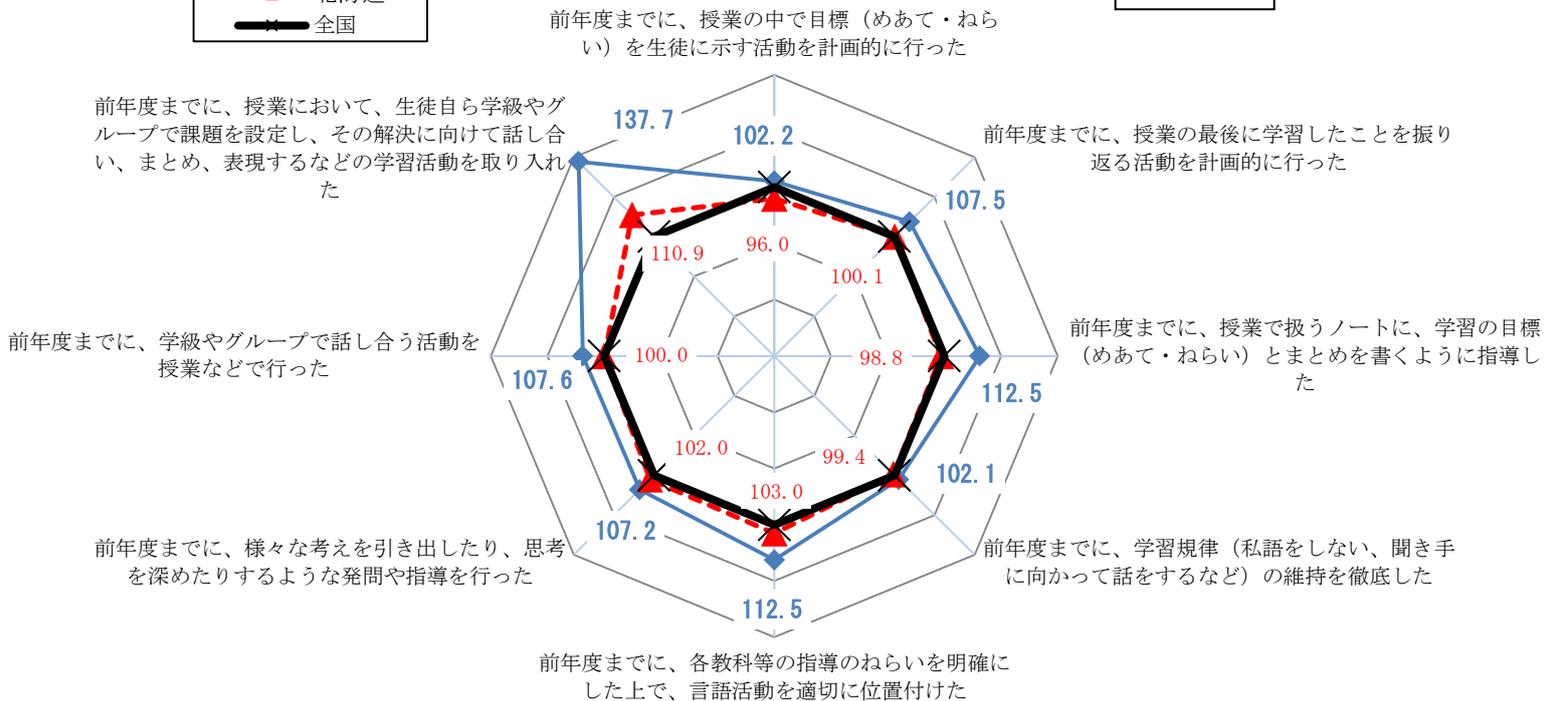
(2) 中学校

- ・全国と比較し、「前年度までに、授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に行った」や「前年度までに、授業で扱うノートに、学習の目標（めあて・ねらい）とまとめを書くように指導した」、「前年度までに、各教科等の指導のねらいを明確にした上で、言語活動を適切に位置付けた」、「前年度までに、様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導を行った」、「前年度までに、学級やグループで話し合う活動を授業などで行った」、「前年度までに、授業において、生徒自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れた」と答えた割合が5ポイント以上高くなっている。(グラフ9)
- ・「(国語) 前年度までに、家庭学習の課題（宿題）を与えた」と答えた割合が5ポイント以上低くなっているが、そのほかの項目は5ポイント以上高くなっている。(グラフ10)

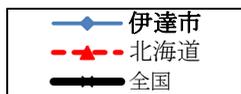
・領域別状況：全国を100とした場合、伊達市及び北海道の状況（中学校：指導方法）



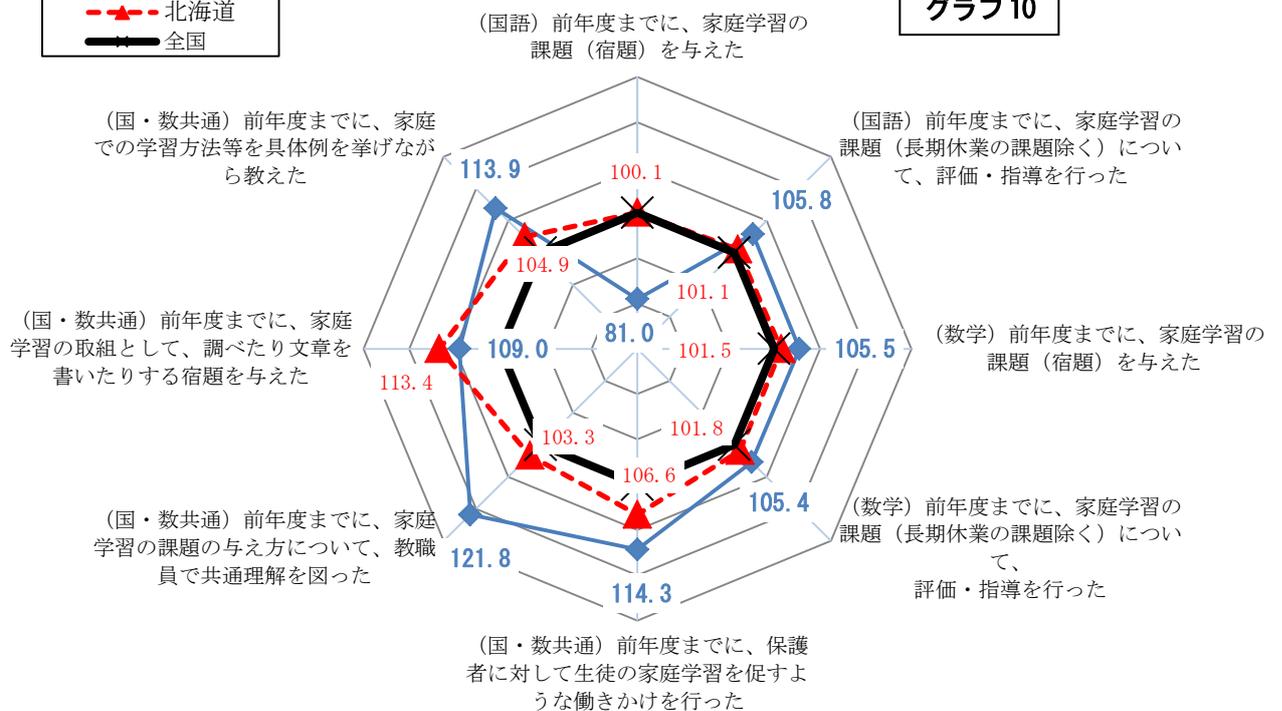
グラフ9



・領域別状況：全国を100とした場合、伊達市及び北海道の状況（中学校：家庭学習（国語・数学））



グラフ10



4 今後の取り組み

(1)伊達市教育委員会

- ・各学校の「学力・学習改善プラン」の成果や課題について検証
- ・平成 28 年度伊達市学力テスト(標準学力調査)を実施
- ・平成 29 年度全国学力・学習状況調査に向けた準備

(2)市内の各小・中学校

- ・平成 28 年度伊達市学力テスト(標準学力調査)の実施結果を分析
- ・全国学力・学習状況調査及び伊達市学力テストの結果の分析をもとに、各学校において、「学力・学習改善プラン」を策定
- ・各学校における「学力・学習改善プラン」の具体的取組・実践
- ・平成 29 年度全国学力・学習状況調査の実施